

ヒートポンプ問題連絡会 御中

2010年10月22日

日立アプライアンス株式会社

取締役社長 石津



ご質問状に対する回答

謹啓 錦秋の候、ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。

また、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、2010年10月4日付にて、貴連絡会より、弊社及び弊社の親会社であります株式会社日立製作所宛に「ヒートポンプ性能表示についての回答結果の送付と再質問について」と題したご通知を頂戴いたしました。ご質問に関しまして、弊社より別紙の通り回答申し上げますので、ご査収ください。

回答が遅くなりましたこと、お詫び申し上げます。

謹白

(別紙)

回答

弊社では、エアコンの性能測定は、日本工業規格（J I S）の定めに基づいており、その測定条件下で測定した当該エアコンの定格能力を実現するときの消費電力量及び運転音をカタログ等に適正に表示しております。

先般もご回答申し上げたとおり、インバーターエアコンは、周囲の温度変化等に対応して当該エアコンの圧縮機の運転状態が変動する特性がありますが、J I Sの定める測定条件下で当該エアコンの定格能力を実現するときの消費電力を正確に測定するためには、圧縮機の回転数や室内ファンの回転数をそれぞれ固定して測定する必要があります。このように圧縮機や室内ファンの回転数を固定することから、特に室内では室内ファンから出る風速・風量が結果的に一定になることとなりますが、このJ I Sの定める測定条件下で上記測定を行う際の室内でのファンから出る当該一定の風速や風量は、実使用状態における風速や風量、さらには圧縮機の実作動状況とは必ずしも同じにはなりません。

こうしたエアコンの性能測定の方法はJ I Sに従ったものであることから、その測定の際には同様の測定方法を用いることとならざるを得ません。

もっとも、そうした測定のための運転条件等は定められた一定の測定条件下で当該エアコンの性能測定をするためにのみ使用するものですので、測定のための運転条件等の設定方法を特に公表することはしておりませんでした。なお、室内ファンの固定によるこのような風量の設定が年間エネルギー消費効率(A P F)に与える影響は、機種によって異なりますが、定格性能での影響はA P Fで概ね1%~1.5%程度と軽微ではないかと考えております。しかし、弊社としましては、このような測定のための運転条件等の設定方法を消費者の皆様方に公表しないまま用いることは、消費者の皆様方の疑念ないし誤解を招きかねないことも事実であると考えており、これを反省しつつ、消費者の皆様方に誤解を与えることのないよう、分かりやすい表示に努めてきております。例えば、2001年以降、上記測定時に測定のために設定される風速と同様の風速を一般のお客様のリモコン操作では再現しにくい状況でありましたが、2008年秋に発売したインバーターエアコンからは、上記測定時に測定のために設定される風速と同様の風速をお客様自身でもリモコンの操作により比較的簡単に設定できるように改善しております。

皆様には、この点をご理解くださいますようお願い申し上げますとともに、今回の再質問につきまして下記のとおりご回答いたします。

記

ご質問の1：この回答にある「各社」に貴社も含まれますか。

回答：前文に記載したとおり、弊社におきましても、J I Sに定めるエアコンの性能測定条件下で、J I Sに基づいてインバーターエアコンの性能を測定するために、圧縮機の回転数を固定するとともに、室内ファンの回転数を固定することにより、結果的に風速・風量も一定に固定した上で当該性能測定を行っております。

ご質問の2：貴社が「ある条件になると風量を操作して性能試験を行っていた」のはいつからいつまでですか。

回答：2001年以降、上記前文に記載のようにして測定時に測定のために設定される風速と同様の風速を一般のお客様のリモコン操作では再現しにくい状況でありましたが、2008年秋に発売したインバーターエアコンからは、上記測定時に測定のために設定される風速と同様の風速をお客様自身でもリモコンの操作により比較的簡単に設定できるように改善しております。

ご質問の3(1)：貴社が「ある条件になると風量を操作して性能試験を行っていた」製品は、貴社のすべての製品ですか。(はい/いいえ)でお答えください。

回答：上記「ご質問の2」の回答に記載したとおりであります。

ご質問の3(2)：すべての製品ではない場合には、「ある条件になると風量を操作して性能試験を行っていた」すべての製品の機種名、型番を明らかにして下さい。

回答：上記「ご質問の2」の回答に記載したとおりであります。

ご質問の3(3)：前記(1)または(2)の各製品について、「ある条件になると風量を操作して性能試験を行っていた」結果、省エネ性能はそれぞれどのように表示されておりましたか。また、実使用時の消費効率がどの程度であったかお示してください。

回答：前文に記載したとおり、弊社では、JISに則り、その定める測定条件の下でエアコンの性能測定を行い、その結果の性能表示を適正に行っております。

なお、「実使用時の消費効率」とのお尋ねですが、これにつきましては、それぞれのお客様におかれまして様々な使用形態があり得ることから、「実使用」そのものが一義的に明確ではありませんので、その下での性能表示はできないことをご理解ください。

ご質問の3(4)：「風量を操作」とありますが、①操作された結果、出現するエアコンの室内運転音の最大音量(デシベル)、②カタログ等に表示されている室内運転音の最大音量(デシベル)を、製品ごとにお教え下さい。

回答：前文に記載したとおり、弊社では、JISに則り、その定める測定条件の下でエアコンの性能測定を行い、その測定条件下での室内機の運転音を適正に表示しております。

また、製品ごとの運転音は、カタログに表示しておりますので、ここでは個別の記載は省略させていただきます。

ご質問の4(1)：貴社が「ある条件になると風量を操作して性能試験を行っていた」製品の生産台数をお教え下さい。

回答：弊社では、生産台数等に関する情報は公表いたしておりません。

ご質問の4(2)：貴社が「ある条件になると風量を操作して性能試験を行っていた」製品は現在も販売されていますか。

回答：上記「ご質問の2」の回答に記載したとおりであります。

ご質問の4(3)：貴社が「ある条件になると風量を操作して性能試験を行っていた」製品について、製品の生産・出荷を中止したのはいつごろですか。また、貴社が過去に販売店等から「ある条件になると風量を操作して性能試験を行っていた」製品を販売中止のため回収したことがある場合、回収した時期と台数をお教え下さい。

回答：前文に記載したとおりであります。

ご質問の5：「ある条件」とはどのような条件ですか。

エアコン本体やリモコンに対して外部からの操作が必要な場合にはその具体的な操作方法を、エアコン本体が周辺環境を自動検知して起動する場合にはその具体的な環境条件をお答え下さい。

それらは、取扱説明書や操作マニュアルに記載されていますか。

回答：前文に記載したとおりであります。弊社におきましては、JISに定めるエアコンの性能測定条件下で、JISに準拠してインバーターエアコンの性能を測定するために、圧縮機の回転数を固定するとともに、室内ファンの回転数も固定することにより、結果的に風速・風量も一定に固定した上で当該性能測定を行っております。なお、この設定方法は、取扱説明書等には特に記載してはおりませんが、弊社といたしましては、取扱説明書等への記載の検討も含め、今後とも消費者の皆様にご迷惑を招くことのないよう、より簡単で分かりやすい表示に努めてまいります。

以上